

留 学 報 告 書

記入日:2018年12月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部／国際日本学科
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universität Wien
留学期間	2017年8月～2018年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年7月6日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:3 月上旬～9 月下旬 2 学期:10 月上旬～2月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約91000人
創立年	1365年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	約€20×2=€40	約 5200 円	学期ごとに払う、授業料というより税金のような
宿舍費	€318×12=€3816	496080 円	1カ月の寮費(2人部屋) これを×12
食費	約€300×12=€3600	約 468000 円	1カ月の食費、これを×12
図書費	約€20×5=€100	約 13000 円	教科書 1冊約€20、それを5冊ほど
学用品費	約€10	約 1300 円	ノート約€2、シャーペンが高く、日本の方がいい
教養娯楽費	約€700	約 91000 円	留学生用の海外旅行ツアーにいくつか参加
被服費	約€300	約 39000 円	防寒着、ニット帽、靴など
医療費	€24	約 3120 円	歯の治療費、保険が効いた
保険費	€23+€57×10=€593	約 77090 円	形態:学生保険、学校までの期間€23
渡航旅費	約€2000	約 260000 円	往復で
雑費	約€300	約 39000 円	旅行のお土産代など
その他	約€300×3=900	約 117000 円	語学学校授業料、Trimester 授業を3回
その他	約€136	約 17680 円	在留資格代
その他	€44+€24=€68	約 8840 円	ラクロス授業とラクロスチーム登録料
合計	約€12587	約 1636310 円	

渡航関連

渡航経路: 日本(成田)からヘルシンキ、ヘルシンキからウィーン

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約13万
復路	約13万
合計	約26万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

航空会社 JAL から直接予約し、購入した。「地球の歩き方 ウィーン」を持って行った。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2人)

3)住居を探した方法:

以前、明治大学の協定留学でウィーンに留学した生徒におすすめしてもらった。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分に合っている住居を見つけることが大事だと思います。私はあまりプライベート空間がなくても生きていけると自覚していたので、2 人部屋でもかまわないという選択をしました。2 人部屋だと、安いですし、ルームメイトともうまくやっていたので楽しく過ごせました。ただ、留学生の友達でずっとルームメイトにかまわれて一人の時間がなく辛いという話も聞くので、いろいろ予想して考えてください。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 歯医者

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

オーストリア人パディの子。日本語、英語、ドイツ語が話せる子だったのでとても助かりました。日本の留学生支援団体。留学先大学にも相談したときはありました。メールでの対応が速くて助かりました。またはルームメイトや寮長。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

部屋が 2 人部屋だったので、一応スーツケースを金庫替わりとしてお金を入れていたり、なるべく分けて保管していました。ですが、スリにあってしまいました。カードや現金が入った財布をすられてしまいました。すぐに交番にむかいましたが、なぜか開いておらず、留学先で困ったことがある場合はここ! という 24 時間対応の日本の保険会社に電話し、状況を説明すると、クレジットカードを止める作業や次に取るべき行動をわかりやすく教えてくれました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮内は WIFI 環境がよく、3 か月に 1 回くらいの数時間メンテナンスで使えないという場合もあったが、連絡が事前に来ていたので、その時は大学に行ったりした。大学も WIFI 環境がよかった。ウィーンは街も比較的 WIFI 環境がよかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開き、日本の親から送金してもらった。学生口座を作った。日本で作ったクレジットカードも併用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

重くない、かさばらない文房具は日本の方が質がいいし、安いので持っていくべき。レンジでご飯が炊ける簡易炊飯器もあって便利でした。風邪薬や花粉症の薬なども自分の体に合っているものは持っていくべき。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

四季報、マイナビのビデオ説明会、リクナビ、unistyle。とにかくネット上でよく調べていました。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

就職先は東武トップツアーズ株式会社。旅行会社を希望していて興味のある訪日事業とスポーツ事業があったから。利用したことがあり、人がよかったから。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

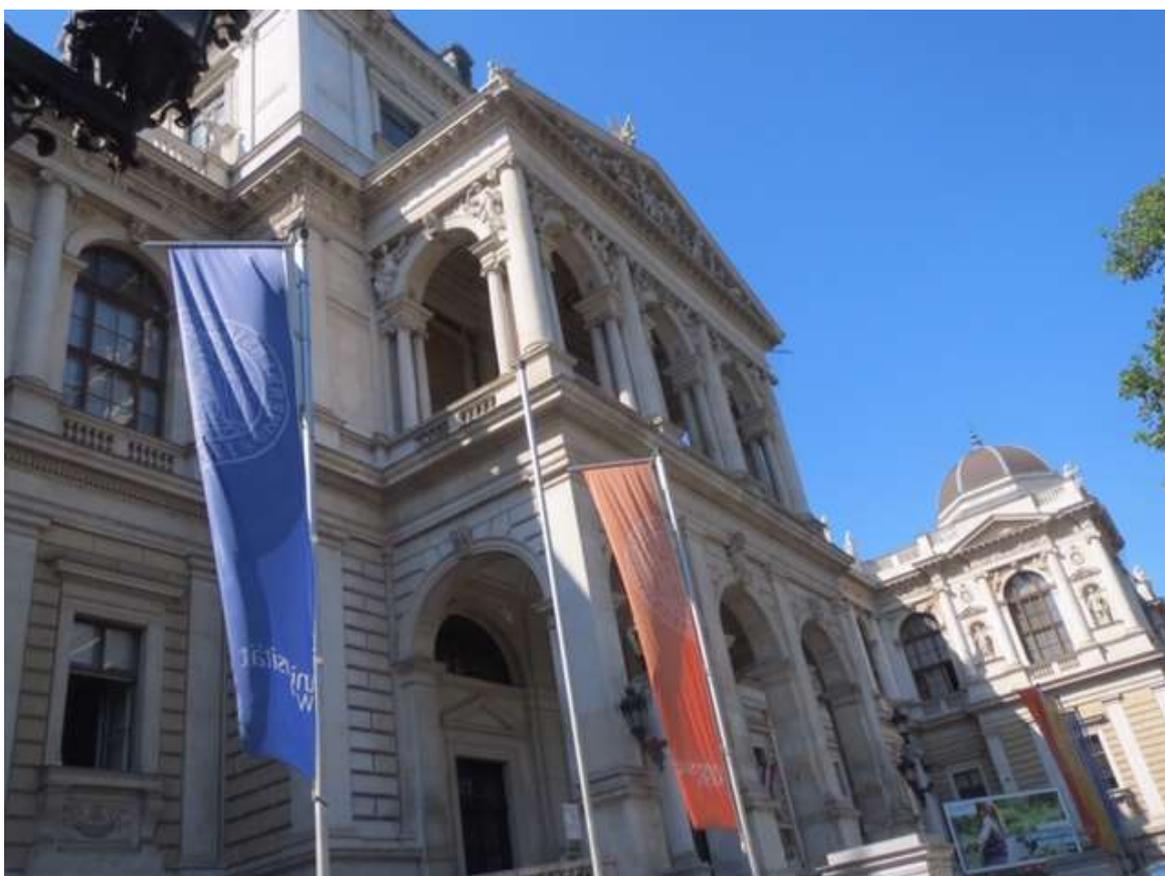
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

情報がなかなか入ってこないで、日本にいる友人などに様子を聞いていたりしました。ただ、他の人の就職活動を目にしないので、ある意味自己分析などに時間をかけ、他を気にせず取り組めた気がします。海外にいてもできることはあるので、ネットでの情報収集や自分が何をしたいのか、なぜそうしたいと思ったのかを振りかえって就職活動を進めれば良いと思います。また、企業に事情をメールなどで連絡するといった方法もあるので、自分から進んで動きましょう。帰国後は留学していた日本人学生用の就職活動イベントや就職活動支援会社のイベントを使って、広く見ていました。ある程度「ここに行っても後悔しない」と思った企業から内定をもらった時に受ける会社をぎゅっと絞りました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
50 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 18 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Demography of European Cities	ヨーロッパ都市の人口統計学
科目設置学部・研究科	地理学部
履修期間	2018 年夏学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が1回
担当教授	Ramon Bauer
授業内容	学期の始めの半分は主に人口統計学の基礎やグラフの見方、そしてエクセルでの作成の仕方を講義型で学んだ。学期の後半では 4、5 人のグループに分かれて一つのヨーロッパの中の都市について人口統計学的に探った。その結果を発表し、レポートにまとめた。使用言語は英語。
試験・課題など	試験はなく、学期最後にグループで発表とグループで一つにまとめたレポートをメールで提出。エクセルのグラフを作成し、短いパラグラフを書く課題がある。
感想を自由記入	グラフの見方や作成の仕方を丁寧に教えてくれたので分かりやすかった。ヨーロッパの特徴なども見れて面白かった。ただ、主に院生徒が受けていて、発表のレベルはかなり高いと感じたが、それも勉強になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of East Asia	東アジアの歴史
科目設置学部・研究科	東アジア学部
履修期間	2018 年夏学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が1回
担当教授	Rudiger Frank
授業内容	中国、韓国、日本の歴史を振り返る。主に近代。
試験・課題など	選択問題の試験が中間と期末にある。教科書に基づいていて、授業で取り上げられた箇所は読むように言われる。毎週数 10 ページほどある。
感想を自由記入	日本でもやった世界史を思い出させたが、英語で学ぶのは新鮮だった。また、さらに深く 3 国の関係性を見れたのでよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Culture and Communication 2		文化とコミュニケーション2	
科目設置学部・研究科	英語学部		
履修期間	2018年夏学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Gretchen Simms		
授業内容	主に英語圏の国の文化や社会状況を見る。なぜそれが文化になったのか、どのように人や社会に影響を与えるのかなどという点をみていく。使用言語は英語。		
試験・課題など	試験は筆記で、大問5つくらいのもの。課題は特にない。		
感想を自由記入	先生がよく生徒に質問を問いかけたり、ジョークを交えながら授業をするので面白い授業だった。生徒も積極的に手を挙げ意見を出しあっていて、自分も発言することに積極的になれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Austrian Legal System		オーストリアの法律システム	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	2018年夏学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Verena Haas		
授業内容	オーストリアの法律についてその法の歴史からどのようにそれらが適用されるかを学ぶ。英語で行われ、留学生優先の授業なので先生も留学生に対し理解がある。		
試験・課題など	試験は選択問題形式。中間と期末にある。		
感想を自由記入	法律を学ぶことで、オーストリアの歴史を振り返ることやオーストリアがいかにして発展していきべきかを学ぶことができた。先生も英語を比較的ゆっくり分かりやすく話してくれて授業も聞き取りやすかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Global History		グローバル歴史の基礎	
科目設置学部・研究科	歴史学部		
履修期間	2017年冬学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Berthold Molden, Martina Kaller		
授業内容	様々なテーマごとの世界の歴史を学ぶ。テーマごとに講師が違う。使用言語は英語。		
試験・課題など	試験は筆記、持ち込みあり。課題は出された資料を読むこと、量はそこそこある。		
感想を自由記入	テーマごとに講師が違ったので毎回の授業が新鮮だった。テーマごとに歴史を見ているので広い範囲で様々な国の歴史を振り返ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Communication Theory and Research (Media and Communication Policy)	コミュニケーション学と研究の基礎(メディアとコミュニケーション)
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部
履修期間	2017年冬学期
単位数	9
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション型(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Katharine Sarikakis
授業内容	社会情勢に対し意見することが多い授業。講師はよく生徒に問いかけ、それに対し生徒も議論しあうもの。メディアと人との関係性、情報を共有する場、公共圏(Public Sphere)はどのようにできるのかというのを社会学者の文献を通して考えていく。
試験・課題など	試験は筆記、大問が5つくらいある。1問に対し、1ページほど授業から学んだこと、文献を踏まえて答える。課題は出された文献を読むこと。かなりの量がある。
感想を自由記入	院生が多く、議論も激しかったのでレベルが高い授業だった。先生もズバズバ聞いてくれるので、集中せざるえない。大変だったけど、受けてよかったと思える授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Family Policy	日本での家族に対する政策
科目設置学部・研究科	日本学部
履修期間	2017年冬学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とディスカッション型(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Barbara Holthus
授業内容	日本での保育園状況、それに対する人口的な問題、政治的な問題を見ていく。保育園利用者の声や利用できていない家庭の声を集めた日本語の文献を参考にする。
試験・課題など	試験はない。文献を読みレポートにまとめる課題と期末には講師が割り振ったペアで発表する。
感想を自由記入	日本での家族に対する政策はあまりそもそも知らなかったので勉強になった。オーストリア人が日本に対しどのようなことを知っているのか、どのようなイメージを持っているのかを知るチャンスになってよかった。講師は日本に住んだ経験があり、日本語もできた。日本語について、日本人としてどう感じるかを聞かれることもあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural negotiation patterns		異文化交渉のパターン	
科目設置学部・研究科	東アジア学部		
履修期間	2017年冬学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義&グループワーク型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Ronald Mitterhofer		
授業内容	異文化同士の人々がどのように交渉すべきか、どう交渉すると衝突が起きてしまうのか、その文化で同意と反対のサインは何なのかを学ぶ。		
試験・課題など	試験は選択問題。課題は出された文献を読むこと。そこそこの量はある。出席点と発言点がある。		
感想を自由記入	ヨーロッパ人の場合、アジア人の場合、南アメリカ人の場合と、その国籍の生徒の意見も参考にしながら、一つ一つの仕草や動作の意味などを学ぶことができ面白かった。留学生が多かったので講師の教えも丁寧で、分かりやすかった。学期末には実際にその文化の人を演じて交渉を実際にやってみるのも面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
B1/1 Trimester Deutsch		B1/1 ドイツ語3カ月コース	
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum(附属の語学学校)		
履修期間	2018年1月から3月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数チュートリアル型(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Elfriede Pennauer		
授業内容	ドイツ語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを養う授業。レベル別になっている。レベルにもよるが、基本使用言語はドイツ語。それでも生徒に伝わっていないと分かると講師は英語に切り替える。ウィーン大学の附属の学校の授業なので、ウィーンに暮らしている主婦さんが多い。週3か週2、また時間帯も様々あるので大学の授業に合わせて選べる。		
試験・課題など	講師やレベルにもよるが、基本中間と期末に試験がある。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング全てのスキルを計る試験が基本ある。課題は毎授業出る、教科書の問題など。		
感想を自由記入	ドイツ語の上達に一番効果的だった授業。ドイツ語を楽しく学べ、少人数なので発言や質問も積極的にできた。いろんな国の人々とも知り合えるのも魅力的。		

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	1月は冬休みを普通に過ごした。ラクロス部のOG会やミーティングも。2, 3月は特に新入生勧誘の準備で忙しかった。3月には海外遠征に行った。
4月～7月	4月は新入生勧誘で大忙し。5月はラクロスの予定で埋まった。6月はラクロスの国際親善試合の準備や中間試験、またインターンシップの応募もした。7月はTOEICやTOEFL受験、そして期末試験。この時期にあったいろいろな留学説明会とにかく参加した。
8月～9月	8月初めはラクロスの合宿。その後も練習やバイトで夏休みを過ごした。9月もだいたいそうだが、9月中旬に留学計画書を書きはじめる。留学カウンセリングにも行きはじめる。
10月～12月	10月も留学ガイダンスや留学計画書を英語の先生や、アメリカ人で英語の教師をやっている母の友人添削してもらう。11月に書類提出。12月には書類審査通過の連絡が来た。12月10日に駿河台キャンパスで面接。12月中旬に大学がウィーン大学に推薦するとの連絡が来て、ウィーン大学への出願を始める。
2017年 1月～3月	1月19日に和泉キャンパスで学内審査合格者オリエンテーション。2月頃には留学大学先へ出願をネット上でする。
4月～7月	5月中旬頃にウィーン大学担当者から受入許可証が送られてくる。6月中旬に日本学生支援機構(JASSO)の奨学金の学内選考結果がOh!Meijiで通知される。飛行機のチケットをJALで行きと帰り(帰りはオープン)で予約する。海外旅行保険の申し込みも6/30までに済ませる。7月に渡航前オリエンテーションが駿河台キャンパスである。
8月～9月	8月初旬は部活の合宿があり、中旬には開幕戦があった。8月15日に在留許可を取る案内に紹介されていたオーストリア人翻訳者に戸籍謄本の翻訳を依頼する。8月21日にウィーンへ出発する。その翌日に寮へ入り、入国してから3日以内に申請しなければならない住民票のようなものMeldezettelを申請する。また、銀行で口座を作り、在留許可のための翻訳を翻訳者の家まで取りに行く。8月28日語学学校の授業(Summer Intensive Course)のためのプレイズメントテストを受ける。翌日に語学学校の授業開始。30日に大学オリエンテーション。9月中旬に在留許可を申請する市役所のような場所MA35に行き、申請の書類提出と手留在留許可を取るまでの手順確認。9月18日保険を取るため保険の機関、WGKKへ行く。
10月～12月	10月2日にInternational Officeの担当者に明治に提出する書類にサインしてもらう10月3日にウィーン大学発授業。10月10日に語学学校の授業(Trimester Course)スタート。11月17日アメリカのポストンキャリアフォーラムへ。12月7日ドイツ語修了テスト。12月19日から冬休み。
2018年 1月～3月	1月8日まで冬休み。1月16日から次のレベルのTrimester Courseの授業スタート。1月下旬試験期間。2月1日から3月1日まで春休み。2月2日によろやく在留資格を取得できた。3月1日に授業スタートと同時にドイツ語クラスの間中テスト。3月13日にドイツ語修了テスト。3月26日からイースター休み。
4月～7月	4月8日までイースター休み。4月上旬企業へエントリーシート郵送した。4月10日レベル上がったドイツ語クラススタート。5月下旬試験ある科目も。6月中旬ドイツ語修了テスト。6月下旬定期試験。6月29日寮を出る。7月5日帰国。7月9日帰国届提出、就職キャリアセンター行く。9日から就職活動の夏採用をしている企業の説明会、面接やキャリアフォーラム参加し続ける。部活も7月10日から再開。7月終わりにウィーン大学の成績開示がされたので、成績証明書を送ってもらうよう依頼する。

8月～9月	8月初旬面接もあり、4年生最後の部活合宿。8月13日から開幕戦。面接受けたりする。成績証明書がウィーン大学から郵送で届き、8月の間に単位認定の書類を提出するが、夏休み明けではないと単位認定の会議が行われないことを言われる。9月中旬内定決まる。9月20日明治大学授業開始。9月25日学校で受けることが出来なかった分の健康診断を受ける(就職活動提出用)。
10月～12月	10月1日内定式の予定だったが、台風により中止。11月に部活を引退。12月単位認定されたと連絡がある。この書類書くのを再開。



留学体験記

留学しようと決めた理由	私がオーストリアのウィーン大学に留学を決めた理由は、島国である日本と違い、四方を他国に囲まれていることで様々な文化の影響を受け、その中でどんな文化が息づいてきたかの興味と、オーストリアから日本はどのように見られているかを知りたいと思ったからです。もう一つの大きな理由がドイツ語圏であるオーストリアで、生きたドイツ語に触れ、実際に使い、大学や外部の教室でも学んでいるドイツ語にさらに力をつけたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	ドイツ語を大学でも学んでいたほか、外部のドイツ語教室にも通っていました。それでもやはり語学の向上は日本でもできるので、もっとやっていけばドイツ語の授業も現地でのお友達との会話もさらに分かりやすくて良かったかもしれないと思いました。また1年の留学だったので在留資格取得に必要な書類をそろえることには気を付けました。私の場合、戸籍謄本の訳はオーストリアの翻訳者に依頼をしましたが現地で翻訳者の家に取りに行くのは少し不安だったので日本で用意するのもありだと思えます。
この留学先を選んだ理由	ドイツ語の力をつけたいと思っていたので、主にドイツ語圏の大学を見ていました。その中でオーストリアのウィーン大学が第一志望だったのはドイツと違って内陸国であるという点です。島国である日本、オーストラリア、また海に面しているベトナムに住んだ経験が既にあったので、たくさんの周辺国の影響を受けてきたであろうオーストリア文化がどのようにいきかっているかが見たかったからです。また、日本ではあまり見かけないオーストリアの隣国、つまりハンガリーやスロバキア人などにも会ってみたいと思いウィーン大学を選びました。
大学・学生の雰囲気	ほとんどが10代、20代の学生ですが、60代もしくは70代の人も学びに来ています。大学キャンパスはウィーン中にたくさんあって、キャンパスによっても雰囲気は様々です。ドイツ語圏最古の大学といわれるだけあってメインキャンパスのつくりは歴史もあり、美しい建物です。中庭などもあり、晴れて暖かい日や冬でもコーヒ一片手にベンチに座って本を読んだり、友達と話している学生は多いです。私が受けたのは英語で行われる授業が多かったのもあって、大学院生も多く学びに真剣な生徒が多いと感じました。
寮の雰囲気	清潔感のある寮でした。パーティーなどのイベントもあり、友達を作る機会もあってよかったです。セキュリティもしっかりしていて、大きな騒ぎもなかったので安心して過ごせた環境でした。キッチンには約10人と共有だったので一緒にご飯を食べたり、作りすぎたビスケットをもらったりもしました。ドイツ語の課題で困ったときは、ルームメイトやオーストリア人の友達の部屋に聞きに行き、教えてくれたりもしていい関係でした。逆に日本語を学んでいる学生もいて、教えあうことができました。
交友関係	8月下旬にウィーンに到着し、寮に入りましたが、寮のほとんどの学生が実家に帰っており、寮の友達は始めはできませんでした。夏のドイツ語教室が始まるまでは一人でウィーンを回ったり、パディを見つけるシステム(大学が提供してくれた)を通してパディに会ったりと時間を過ごしました。ドイツ語教室が始まると、そこでの学生と仲良くなり、またその教室が提供してくれた遠足や山登りなどのイベントに参加し、友人を作ることができました。大学が始まると、ホールでの授業ではなかなか友達ができませんでした。少人数の授業では何人かの学生と仲良くなることができました。また、寮にも学生が戻ってきてコミュニティを広げられました。ラクロスの教室にも参加し、コーチにチームに入るかと誘われ、そこでもオーストリアのラクロス仲間ができました。大学が提供してくれる留学生用イベントで知り合ったノルウェー人と特に仲良くなり、一緒に旅行に行ったり、クリスマスにはその子のノルウェーの実家に招待してもらいました。
困ったこと、大変だったこと	すりにあってしまったときは本当に困りました。それでも留学の対応の窓口で連絡してカードを止めたり、またパディに連絡して警察での手続きを助けてもらいました。大変だったのは授業での課題です。たくさんの資料を毎回授業が終わるたびに読ませられて、その量は非常に多かったので読み終わらず試験に臨むことも多かったので、授業後にすぐ読み始めることをおすすめします。体調を崩すことはそんなに多くありませんでしたが、ルームメイトが風邪をひいた時は完全にうつってしまいました。それでもルームメイトにスूप作ってもらったりと世話をしてもらったので良かったです。2人部屋の際はルームメイトの体調の様子も見てお互い気を付けるといいと思います。

学習内容・勉強について	ウィーン大学では社会学部に所属していましたが、社会学部以外の学部の授業をいくらかでも受講できたので、自分が興味あるものにはドイツ語でも聴講だけでもしてみようとたくさん授業を取りました。たくさんの発見や学びができましたが、授業を取りすぎて試験対策が追いつかないということもあったので、どの授業を確実に取るのかを見定めて、取得したいまたは必要な単位数を取れるように授業は取るべきだと思います。講義タイプでの授業では講師が説明しますが、生徒の発言数が多く刺激的でした。自分も分かることは積極的に発言するよう心掛けるようになって、とても良い環境だと思いました。あと図書館をもっと活用すべきだったと今では思います。ウィーン中にウィーン大学の図書館がたくさんあるので勉強が進むと思います。
課題・試験について	Oh!Meiji のような大学の学生用ページにたくさんの資料がアップロードされ、それらを読むという課題が多かったです。とにかく量が多いので読み始めるのを早めにするをおすすめします。また、地理学部の授業ではエクセルでグラフを作って、レポートを書くというような課題も出されました。エクセルでのグラフの作り方は講師がネット上に動画をアップロードしてくれていて、丁寧に教えてくれていたのでそこまで困らずスムーズにできました。分からないものはすぐに講師に聞くことで相手も丁寧に答えてくれると思います。試験は選択問題に案外苦戦しました。選択するべき数が定まっていない分、確実に正解しないと点数がとれない選択問題が主流です。選択問題だからって油断せず、確実な答えを出せるよう勉強することをおすすめします。
大学外の活動について	USI と呼ばれるウィーンにある大学の学生ならば参加できるスポーツ教室の機関があり、その中のラクロス教室に参加しました。そのコーチにラクロスのチームに参加しないかと誘われ、チームに入ることができました。そのチームでの練習が週2、3回あり、そのチームメンバーでサッカーの試合を観に行ったりすることもでき、とても楽しかったです。またメンバーがほぼほぼ社会人で、ウィーン大学以外の学生もいたので、大学外のつながりが広がりました。ルームメイトもウィーン大学ではなく、ウィーン工科大学の学生だったので、ウィーン工科大学の学生とも仲良くなることができました。
留学を志す人へ	自分が動かないと本当に時間だけが過ぎてしまいます。留学生活は本当にあつという間です。なぜ留学したいと思ったのか、留学生活で何をすべきかを忘れずに行動すればきっと後悔のない、そして価値のある留学になるとと思います。自分がしたいこと、逆にやりたくないこと、分からないことは素直に発信していくのも大事だと思います。分からないことは特に、進んで人に聞いていくことは損にはならないと思います。充実した留学を送れるよう頑張ってください！

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	ランニング	ドイツ語	授業	ドイツ語	全休!	金曜と同じ	金曜と同じ
	授業	ドイツ語	授業	ドイツ語	ランニングしたり	テスト近いと勉強に時間あてます	
午後	昼、自炊	昼、食堂	友達とご飯	授業	旅行に行ったり		
	授業	授業	自習	授業	友達遊んだり		
夕刻	授業	授業	自習	自習	イベントに参加したり		
夜	自習	ラクロス	授業	ラクロス	自由に過ごしました		ラクロス